

2021年11月17日

横浜ゴムのタイヤ販売会社が北海道旭川市へスタッドレスタイヤを寄贈

横浜ゴム（株）のタイヤ販売会社である（株）ヨコハマタイヤジャパンの北海道カンパニーは2021年11月12日、地域貢献活動の一環として乗用車用スタッドレスタイヤ「iceGUARD 7（アイスガード・セブン）」36本を北海道旭川市へ寄贈しました。寄贈タイヤは同市の公用車9台に装着されます。同日、旭川市役所総合庁舎で行われた受納および感謝状贈呈式に北海道カンパニー社長の谷口浩二が出席し、今津寛介旭川市長より感謝状を授与されました。

旭川市では季節ごとに交通安全市民総ぐるみ運動を実施しており、特に国内でも有数の寒冷地となる冬には凍結路面でのスリップ事故防止のための安全運転などを呼び掛けています。今回、公用車の冬道での安全運転に寄与するとともに、最新スタッドレスタイヤの優れた性能を実感していただき、交通安全活動に活かしていただきたいとの思いからタイヤ寄贈を決定しました。同市へのタイヤ寄贈は3回目となります。なお、横浜ゴムは同市内に2015年12月に開業したタイヤテストコース「北海道タイヤテストセンター」で「iceGUARD 7」をはじめ冬用タイヤの試験を行っています。

「iceGUARD 7」は2021年9月に発売した「YOKOHAMA スタッドレスタイヤ」の第7世代の新商品で、「アイスガード」が一貫して追求してきた「氷に効く＝氷上性能」を向上させたほか「雪に効く＝雪上性能」もレベルアップしたタイヤです。従来品で定評のあった「永く効く＝性能持続性」も兼ね備えており、2021年度グッドデザイン賞を受賞しています。



今津寛介旭川市長より感謝状を授与された
ヨコハマタイヤジャパン北海道カンパニーの谷口浩二社長（左）

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570